

1月 いじめを見逃さない日 生徒の感想（抜粋）

- 僕は、保護者の方の話を聞いて、好きの反対が無関心ってことがすごく確かになって思いました。嫌い、嫌いって思っているだけで相手のことを考えていると思って、本当は心の中で仲良くなりたかって思っていると思うから、保護者の方の話はとてもよく分かるなと思いました。
- 私は今回の授業を通して、「物事を多角的に見る」ことの重要さについて考えました。今までは「桃太郎」は正義で、「鬼」は悪だという視点でしか見ることができていなかったけれど、鬼の子ども、犬、サル、キジなどと様々な角度があると知りました。今日学んだことを日常に生かしていきたいです。
- 私は今日の授業で保護者の方たちが思っていることと子どもたちが考えていることが違うことが分かりました。保護者の方は「集団の中でとびぬけてしまうだけでいじめられるのではないか」と言っていました。確かに、ほとんどの人と自分の考えが違っていると反発されるかもしれない、と怖くなることもあるので、保護者の方も言っていました。一人一人の個性を受け止めながら生活していきたいです。今日みたいにいじめについて考える時間を大切にしていけば、いじめはなくなると思うので、これからも大切にしていきたいと思いました。
- 私は、自分と違う意見や性格を受け入れられないことからいじめに繋がっていくと思いました。少数派の意見を否定してしまったり、学級の雰囲気や暗かったりするなど、様々なことがいじめに繋がる可能性があるなと思いました。いじめを防ぐためには、一人一人が折り合いをつけて少しずつ我慢したり、完全に受け入れられなくても受け入れる努力をしたりすることが大切だと思いました。保護者の方の意見で、家庭環境や嫉妬なども要因になるかもしれないと言っていて、確かになと思いました。余裕がないときに人を攻撃してしまうのも納得しました。
- 「いじめがなぜ起こるのか」については、いじめには傷つけようとしていじめているパターンといじりの延長線上でいじめになっているパターンの大きく分けて2つあると考え方が自分にはなかったけれど、すごく納得しました。「いじめを防ぐために大切なこと」では、全ての人が自分と同じわけではないから、違いを「理解する」ことが大切だと感じました。最後に保護者の方が悩みがあれば小さなことでも周りの大人に相談してほしいと言ってくださって、相談してほしいと思う大人がいることが分かったので、些細なことでも相談したいと思いました。

- 関わることも関わらないことも大切だけど、それはその人自身の性格や相手の性格によるものだと思います。私はそもそも人と関わることがあまり得意でないし、干渉もしないからこそ、関わるのが大切だと考えました。話さなければ分かり合えないこともあるし、話してしまったことによってできた溝もあるから、上手に関わるのが大切だと思います。仲間の意見で「共感を求めない」というのも、とても納得できました。自分と他人が同じだと思わない、と言い換えることもできるけど、人と自分は違うということを頭の中で前置きしておくことも大切だと思います。
- 「いじめはなぜ起こるのか」というテーマで、私は違いを受け入れることができない人がいるからだと思いました。保護者の方の話を聞いて、社会に出たら今よりもっと自分と違う考えの人と出会うのだと知りました。自分たちは3年間育ててきた恕の心があるので、社会に出ても違いを受け入れられると改めて思いました。保護者の方の話を聞く機会があまりないので、今回話を聞いて嬉しかったです。そして地域に私たちの考えていることが広がったと思います。